

北九州医療・介護連携プロジェクト会議 第4回合意事項等

日 時	平成31年4月26日（金）19：00～20：30		
場 所	北九州市役所 3階 大集会室		
参加者	北九州市医師会	安藤 文彦	○
	福岡県介護老人保健施設協会北九州ブロック	犬塚 寛	○
	小倉医師会訪問看護ステーション	加藤 ひとみ	○
	福岡県看護協会	閑地 敦子	○
	北九州市薬剤師会	佐藤 千穂	欠席
	北九州市歯科医師会	重藤 弘之	欠席
	ケアマネット21	白木 裕子	○
	小倉在宅医療・介護連携支援センター	白土 健司	○
	北九州高齢者福祉事業協会	曾我 満美	○
	福岡県作業療法協会	玉野 和男	欠席
	福岡県介護支援専門員協会	坪根 雅子	○
	福岡県医療ソーシャルワーカー協会	藤好 正和	○
	福岡県理学療法士会	山内 康太	○
協議事項1 病院窓口ガイドについて	<ul style="list-style-type: none"> ・小倉在宅医療・介護連携支援センターの研修会でアンケートを実施した結果、当日の参加者からは「活用している 6%、知っているが活用していない30%、知らない64%」となった。周知強化を図る必要がある。 ・グループホームや小規模多機能にも周知してほしい。 		
協議事項2 患者情報取得ツールの検討状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ団体として、本事業はとてもありがたい。将来的には、病院から在宅関係者へ連絡が来るようにしてほしい。一人ぐらし、老老介護、認知症の方などが増えている。また、熊本震災の際には情報（紙）がなくなったため、支援をするのに大変苦労した経験がある。この事業は非常にありがたい。 ・老健施設としても、患者を施設から在宅にうつす際に安心しておくり出せるため、非常にありがたい。市民の中には、自身のかかりつけ医やケアマネ事業所、既往、服薬等を説明することが難しい方もいるため、ありがたい。素晴らしい市民サービス。市民にとって大きなメリットだ。 ・医師の立場からすると、知らないうちに搬送されたケースでもこれまでの病歴等の基本的な情報がきちんと伝わることになるため、非常に助かる。 ・将来的には、要介護認定申請書の中に同意取得の一文入れるようにしてほしい。 ・事業所との契約書（重要事項説明書）の中に同意取得を入れるように改正して欲しい。 ・同意取得に関してケアマネの負担感はないと感じる。 ・急性期の病院は入院期間が短く同意は取りにくいだが、回復期、慢性期の病院は同意取得をしやすいのではないか。 ・救急、夜間の際はなかなか情報がとれない。情報が収集しやすい環境を整えて欲しい。具体的なアクションを起こしていかないといけない時期に来たと感じている。 ・早く作っていただき、みんなが協力しながら運用していきたい。 ・既存のものを有効に活用するのはよい。2～5年後は市内の状況もだいぶ変わっていると考える。早く環境を整えて欲しい。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・システムを早く稼働させるのが当面一番重要。将来的には「ACP」などにも対応していけるようにするのがよい。
<p>協議事項3</p> <p>地域連携室等連絡会について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの段階かで自立していくべきだと考える。将来的に自立してもらうことも視野に入れて取り組むべきだ。 ・市内の地域連携室は市内でのつながりを求めている。設立を行政に手伝ってもらえることはありがたい。 ・連絡会を作ることが市内の病院の底上げにつながっていく。
<p>協議事項4</p> <p>体系的な研修の構築について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療SW協会の北九州ブロックを7月に立ち上げることとなった。説明をお願いしたい。 ・その他各団体から研修会でプロジェクト会議の取組の周知に取り組みたいとの声が活発にでた。 ⇒各団体の年間計画に自然にプロジェクト会議の取組が位置付けられるように取り組んでいきたい。
<p>協議事項5</p> <p>今後の進め方など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、プロジェクトを進める上で医療・介護の連携に関する研修などを実施している在宅医療・介護連携支援センターに作業部会に入ってもらおう。